

# 第4次湯梨浜町総合計画第3回審議会

日 時 令和2年12月24日(木)

10時00分～11時35分

場 所 湯梨浜町中央公民館 大講堂

出席者 審議会委員27名

【三役】 宮脇町長、亀井副町長、山田教育長

【幹事】 16名(出西総務課財務担当参事及び山根議会事務局長欠席)

【事務局】 上井企画課長、西川企画課課長補佐、米増企画課係長、鳥羽企画課主事

1. 開 会 司会：上井企画課長

2. 会長あいさつ 山田 修平会長

本日もご出席いただきありがとうございます。今日もマスクをしたままの審議会です。

第1回目、6月2日に町長さんから総合計画の諮問をいただきました。そして第2回のこうした大きな会が7月31日に行われました。今日は3回目。それぞれ4つの部会に分かれてみなさん方に協議していただき、そして今日その意見が出てまいりました。今日の運びは、それぞれの4つの部会がこんな議論をした、協議をしたということ部会長さんから報告いただき、そうして出た意見について事務局としてはどう対応するのか、あるいは幹事会の意見、対応が出てきて、示された2次案に対して皆さんからいろんなご意見をいただきながら成案を作ってまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 町長あいさつ 宮脇 町長

年末の大変ご多用のところお集まりいただきましてありがとうございます。

先ほど山田先生からお話がありましたように、3回にわたる分科会そしてこの審議会、今回3回目ということで、今朝ちょっと中身も拝見しておりました。その分科会での意見といいますか、その検討状況の報告を読ませてもらいますと、今解決すべき課題について提言があったり、あるいは将来の湯梨浜の施策の方向性を変えたりするというような大きな話もあって、非常に皆さんのご努力といいますか、ご尽力をいただいているのが分かりまして、心からお礼を申し上げたいと思います。

審議会的にはもう一度開催して成案に向けていくということですが、湯梨浜がより住民のみなさんにとって住みやすく安心して住めるまちになることをそれから経済的にも文化的にも豊かで明るいまちになること、そういうまちを湯梨浜はずっと基本としてきたと思っております。

みなさんには大変お世話になりますけども、成案に向けて引き続きお力をお貸しいただきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございます。

#### 4. 協議事項 進行：山田会長

##### (1) 専門部会審議状況報告

###### 【総務企画部会報告】

・資料5、整理番号1、基本構想、総合計画のキャッチフレーズ、未来都市像の「愛のまち」という表現に少し違和感を感じる。語彙をくみ取って言い換えるならば、「ぬくもりのまち」などに変えてみてはどうか。

・資料5、整理番号2、基本計画・分野別基本施策「安全で住みやすいまちづくり」「公共交通の整備及び支援」でICT自動運転について。自動運転については一歩後退しているようである。八頭町ではソフトバンクとタイアップしていたり、様々な自治体で実証実験も行われているが、現実的には2030年の実施は難しいのではないかと。そうではなく、共助交通の仕組みづくりなど現実的な実現性の高い手法を模索してはどうか。

・資料1の2ページ。資料5の整理番号5、「地域防災力の向上」。自主防災組織未設置の区に組織化を促進するのはもちろんだが、組織化されている区も組織ができていて終わっており、あまり機能していないので、取組を充実させる必要がある。防災士の育成支援についても資格取得だけで終わっている。これらの事業が恰好だけでなく、中身が伴っていくことが重要である。

・資料5、整理番号6、「未来を創造する先駆的なまちづくり」「情報通信環境の充実」。施策の内容を見ると、ハード整備を重視しているように見受けられる。通信環境を整備するだけでなく、どう使っていくかが大切。例えば通信環境が整備されても、それを使いこなす能力を身に着けることができるかなど。情報教育も計画本文には出てくるが、ソフト的なものも施策内容に含めた方がいいのでは。

・高齢者の方ほどインターネットやパソコンなどIT技術を身に着けた方がいいと考える。ITと高齢者は結びついていない。また、障がい者にとってもIT技術を向上させることで様々なメリットがあるのではないかと。また、アンケートでも「自治会役員の成り手不足」といった課題が浮上してきたが、自治会業務の軽減につながる、ひいては「自治会役員の成り手不足」の解消の一助になるのではないかと。

・資料5、整理番号7、8、「共に支え合う町民が主役のまちづくり」。住民アンケートでも「子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できるような機会の提供」を求めるとの回答が最も多かった。ぜひ、小中高、若者の意見を聞くような仕組みや事業を検討してほしい。また、いろいろなことで仕掛けを考えてみてはどうか。例えば次のような手法を検討されてはどうか。町長、副町長だけでなく、各課長が児童生徒と給食を一緒に食べて、まちづくりについてのディスカッションを行う。「町長と語る会」のように幹部が出前で小中学校を回って、意見交換会を行う。町議会と中学生との意見懇談会。ふるさと教育の一環で湯梨浜町のまちづくりというテーマで子供たちに検討いただき、結果を町長含め、役場職員に報告

する。選挙権の年齢が18歳以上と引き下げになったので、高校生に選挙立会人を依頼してはどうか。

・資料1、(3)基本計画(横断型重点戦略)。資料5、整理番号15。「男女が共に活躍できるまちづくり」について。ここに老若男女という文言を入れられないか。働き盛りの人は仕事があるからといってなかなか地域に出てこない。仕事があろうが地域に関わり、老若男女みんなでつくるまちとしていかないと町は元気になっていかないので、「どんな年齢の人も」という記述がほしい。

・資料1、3ページ、(5)その他、表現について。文末の表現について。例えば第1回総務企画部会資料8「基本計画、分野別基本施策、安全で住みやすいまちづくり」の8ページ、「公共交通の整備及び支援」。最後の文言が「公共交通ネットワークの在り方を検討します」で終わっている。この計画を評価するという点においては、2030年になっても「検討します」ではいけない。公共交通についてはすぐ手当しないと地域は先細りとなってしまうため、検討している場合ではない。ここは「検討します」ではなく、例えば「公共交通の仕組みを実現します」とすべきでは。その他にもこういった文言が散見されるので、もっと積極的な表現をするべきではないか。

・資料5、整理番号17番、施策事業に係る要望。アンケートの結果でも若い世代のボランティア活動に参加したくないという意見が多かった。みんながまちづくりに参加する機運醸成のために、町が主催する区長を対象とした会議の日程を検討する際には、平日の昼間だけではなく、誰もが参加できるように配慮してほしい。仕事をしている人には日程がネックとなる。誰もが出席できるように考えていただければ、区の役員にしてもボランティア活動にしても参加しやすくなる。

#### 【福祉環境部会報告】

・第4次総合計画策定にあたっては、まずは第3次総合計画の継承が重要だという認識でいるので、計画実現のための数値目標を設定するにあたり、10年先を見据えたまちづくりをしてほしい。

・保健・医療・健康づくりの内容については、検診が重要という意見があり、乳児検診をKGIの数値目標にとり入れてほしい。

・災害に強いまちづくりという点については弱者や高齢者への具体的な対策が重要という認識でいる。有事に即応できる地域と連携した実践的な体制づくりをお願いしたい。

・まちづくりアンケートの結果から、湯梨浜町内の羽合、東郷、泊の地域格差がないような、例えば共助交通についての取り組みをお願いしたい。

#### 【産業建設部会報告】

- ・土地利用計画の工業用地について。まず、移住定住の相談を受けるときに、働く場所についての説明がなかなかできないということで、現在企業誘致について町としてはどの程度考えをもっておられるのか。
- ・大型の企業誘致はバブル時代のものであって、現在は小さな異業種が集まって交流しながら新しい事業を生み出すということが重要。小さな異業種が集まってということで、廃校舎等を利用してもいいのではないか。その辺を明確にしておく必要があるのではないか。
- ・工業用地という項目があるが、実際には町内のどの辺にあるのか調べていただいたところ、工業用地の跡地は実際にはないということだったので、記述の見直しをしていただく。
- ・巻末の表、資料6-2の最後の表の備考欄について事務局の方から、この言葉が独り歩きすると困るといような説明があり、部会としても備考欄についての表現を削除しても問題ないのではないかとこのように考えている。
- ・KGI 重要目標達成指標について。数値設定はしてあるが、その数値を出す根拠、どういうアクションを行ってこういう数値が出ているのかということを確認に記載していただきたい。

#### 【教育文化部会報告】

- ・分野別基本施策の分類替について。小中学校の歯科保健、食育については「健やかな心と体づくりの推進」よりも福祉環境部会の生涯学習の中の健康づくりの方が合うのではないかと案がでていたが、先日の専門部会で、内容を膨らませて、「健やかな心と体づくりの推進」のままにしておくということになった。
- ・情報教育の推進について。書いてあることが10年以上前の内容ではないか。ICT を使って授業を進めて、子どもたちがより理解を深めるというように書いてあったが、今狙っているのは主体的に ICT を使って子どもたちが発信すること。ここは変えないといけないのではないか。
- ・基本計画について。「支縁社会の形成」。アンケートにもあったが、災害時にだれがどこに住んでいるかよくわからないといったことがあるので、町の中で骨格を作ってほしい。
- ・ドローンを活用した地域振興。最初の案では、「ドローンの活用を検討していきます」だった。そういうレベルではなくて、「ドローンを活用していきます」でなければいけないのではないか。他の自治体はドローンをどんどん使っている。リード文では「取り組んでいきます」となっており、一部では「検討をしていきます」となっているので、「取り組んでいく」という書き方に統一してほしい。
- ・重点課題の評価の部分。A は「達成、事業完了」、A は B より上と考えれば、「計画以上に十分な成果を残せた」とした方がわかりやすいのでは。
- ・最初の部会でも出ていたが、「東郷湖」と「東郷池」が混ざっている。「東郷池」でいいのでは。

【事務局回答】資料5に沿って説明。

・整理番号1、総務企画部会の報告にもあった、基本構想の未来都市像、「住みやすく魅力と活気あふれる愛のまち」について。キャッチフレーズの「愛のまち」に少し違和感を感じる。語彙をくみ取って言い換えるならば「ぬくもりのまち」などに変えてはどうかという意見。

→事務局としては「愛」を使い、このままのキャッチフレーズでいかせていただきたいと考えている。

理由①まちづくりの理念として、町民同士が支え合うまち、互助の精神を挙げており、その根底にあるのが、敬愛や親愛の心。それを表すのに「愛」という表現を使うことによって、まちづくりの理念が鮮明になる。

理由②「支え合い」の「合い」という字について。鳥取県がよく福祉の施策で「愛する」の「愛」という字を使っている。理念との関係性が理解しやすいという点。

理由③「愛」という言葉にインパクトがあり、印象に残りやすい。

・整理番号6。総務企画部会からの意見。情報通信環境の部分の施策。中身を見るとハード面を重視しているように見受けられる。通信環境が仮に整備されても、それを使いこなす能力が必要。ソフト的なものを施策内容に入れてはどうか。高齢者の方ほどインターネットやパソコンなど IT 技術を身に着け、IT 技術を向上させることで、様々なメリットがあるのではないか。

→横断型重点戦略の「新たな日常を支える安心と活力あふれる先進的なまちづくり」の中に組み込んで、その中の情報モラルに関する研修機会の充実や情報格差、デジタルデバイドの解消の中で重点的に取り組んでいきたいと考えている。

・整理番号7。子どもや若者が積極的にまちづくりに参画できるような機会の創出。今回住民アンケートの方で新たに選択肢として加えたところ、この部分を選ばれた方が最も多かった。ぜひ小中学校高校生や若者の意見を聞くような仕組みや事業を検討してほしい。

→町としてもこのアンケートの結果を踏まえて、子どもや若者のまちづくりへの参画推進事業として取り組んでいきたいと考えている。整理番号の8にさらにこういった施策を取り入れてはどうかというご意見をいろいろいただいているので、これらの貴重なご意見を参考にさせていただきながら、今後の事業立案や事業執行の参考とさせていただきたい。

・整理番号10。整理番号15のご意見と関係しているもの。総務企画部会からの提案。基本目標の「志をもって共に学び明日を拓くひとづくり」の施策の中の「男女共同参画の実現」について。今は男女共同参画は古い。高齢者も若者も障がい者も外国籍の方も含めて、一層多様性を確保し、認め合う「ダイバーシティ」の推進をすべきである。LGBT などマイノリティの方も共生できるような取り組みがあってもいいのではないか。整理番号15で言えば、これは横断型重点戦略の部分になるが、「男女が共に活躍できるまちづくり」という項目を3回目の専門部会以降入れさせていただいている。この中の文言で、「男女」ではなく、「老若」というフレーズを入れることを検討してみてもどうか。

→ダイバーシティについて。今後ますます焦点が当たってくる概念だと思っている。ただ、その概念については一定の期間をかけて住民に浸透させていく必要があるので主要事業やスローガンの意味で掲げるのではなく、まずはダイバーシテ

ィーの観点を取り入れた事業を着実に行っていき、その概念を浸透させていきたいと考えている。

→老若男女みんなが活躍できるまちづくりについて。記述の変更をさせていただいている。

・整理番号12。総務企画部会、教育文化部会で出た意見。「東郷湖」、「東郷池」と表現が混在しているので、整理してほしい。

→基本的には「東郷池」で表現を統一させていただきたい。例外として、例えば県立東郷湖羽合臨海公園などの固有名詞などは「湖」という言葉を使い、その辺は考えながら表現の方を使い分けさせていただきたいと考えている。

・整理番号13。KGI について。KGI25 で「男女共同参画の推進」という目標を掲げており、その中の地方自治法に基づく審議会、委員会などの女性の割合について。当初事務局が提示していた数値目標は35%だったが、それを40%に引き上げてはどうか。

→元々35%以上としていた趣旨としては、平成30年度に策定した第4次男女共同参画プランの最終年度が令和5年度で、その時点の目標値を30%としていたということと、現実的な数値ということで35%以上としていた。今回のご意見を踏まえて、また国や県の目標値が40%以上ということになっているので、同様に40%としていきたい。

・整理番号14。総務企画部会からの意見。実施計画のチェック体制について。総合計画の進捗について毎年担当課で評価し、その結果を踏まえて、翌年度取り組むこととされているが、チェック体制は内部だけではどうしても甘くなるので、外部評価も検討されてはどうか。

→事務局の方で検討している。やはり内部管理だけでは評価が甘くなる点は否めないなので、ホームページで毎年の進捗管理を公開し、住民の方から幅広く意見をいただくことを考えている。

・整理番号18。福祉環境部会からの意見。基本目標と KGI の相関関係について。KGI については項目が25あり、これを達成すると5つの基本目標を本当に実感できるのかということ。KGI の設定の仕方について、目的の指数とその手段である指数とが混在しているのではないかと。例えば「安全で住みやすいまちづくり」という基本目標を達成するための数値指標として、団体の設置数などを設定しているが、基本目標を達成するためには、そこからもうワンクッションいるのではないかと。町の掲げる住みやすさとはこういうことで、それを実現するならこういった指標を達成し、こういった事業を行うといった一連のイメージを明確にしてはどうか。

→基本目標と KGI については、事業と組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた道筋などをおっしゃられた意見の通り、図示すべきだしロジックモデルがあるべきだと考えている。KGI と基本目標の因果関係については、事業や取り組みから発生した直接の効果が望ましい成果、中間的な成果をもたらす、最終的に達成したい成果としての基本目標につながると思う。基本目標についてはとても壮大なテーマを掲げているということもあり、基本構想の10年間をかけてもなかなか達成は難しく、計画にも期限があるが、中期成果(KGI)を積み重ねていくことによって最終的に達成する目標ではないかと考えている。こういった道筋で KGI の設定や事業設定をしているが、KGI と基本目標の因果関係を計画に盛り込むとなる

と、計画が200ページを超える長編になり、町民の方に対してわかりやすい計画から少し遠ざかってしまう。このため、今回の計画には入れていないが、こういったかたちの基本目標と KGI の関係性ということで事務局の方は考えて設定している。

・整理番号24、25。福祉環境部会からの意見。KGI について。3次計画の重点課題の達成度があまり芳しくないが、4次計画のKGIにはあがっていない項目が見られる。

→各課でKGIの見直しや追加を行い、最終的には25のKGIにさせていただいた。乳児検診の検診率についても、元々KGIの方には入れていなかったが、虐待の早期発見につながるということもあり、目標設定してみてもというご意見をいただき、KGIの設定をさせていただいた。

・整理番号26。横断型重点戦略の「人と自然が共生するユニバーサルデザインのまちづくり」の中に入っていた、公共施設のLED化という事業について。これはしなければならないことだが、5年後10年後に町がこうなりたいということとはフィットしないのではないかと。

→横断型重点戦略の定義をもう一回見直したところ、横断型重点戦略とは町が5年後10年後になりたい姿を実現するために重点的かつ能動的に実施すべきものであり、周りの状況でやらないといけないということではなく、こういう目標に向かって町がこういうことをやっていきたいという主体性があるもの。この事業については横断型から分野別基本施策の方に組み替えを行っていきたいと考えている。

・整理番号33。産業建設部会からの意見。土地利用計画の工業用地について。どの程度企業誘致を考えているのか。今後は小さな異業種が集まって交流しながら新しい事業を生み出すことが大切。廃校舎などをこれにあたって利用してはどうか。

→企業誘致の部分については、基本計画の横断型重点戦略の「新たな日常を支える安心と活力あふれる先進的なまちづくり」の中で、ワーケーションの推進、分野別基本施策であれば「にぎわい活力あるまちづくり、商工業の振興」に記述をさせていただいている。廃校舎等の活用に関しては、現在、旧北溟中学校、東郷中学校の跡地があり、ここに企業誘致を検討している。どの程度の企業誘致を考えているかというご質問があったが、これについては企業規模にはとらわれずに幅広く募っていく予定としている。廃校舎の活用についてのご意見もあったが、旧北溟中学校、東郷中学校の校舎については、現時点では体育館以外は解体する予定。

・整理番号34。KGIの数値設定について。どういったアクションをとって最終的なKGIを達成するのか明確にすべき。

→KGIについては根拠をもって数値指標を設定しているが、目標に対する行動と進捗率については、毎年度検証して、足りない部分があれば翌年度に補完するといったようなPDCAサイクルを使いながら検証し、進捗状況を確認して最終的なKGIを達成したいと考えている。

・整理番号35。教育文化部会から出てきたご意見。小中学校の歯科保健、食育についての項目の分類替えについて。小中学校の歯科保健、食育に関する内容を「共に支え合う町民が主役のまちづくり」という基本目標の中の健康づくりの方にもつ

ていってはどうか。

→最終的に第3回の教育文化部会で精査、審議いただき、内容に少し厚みをもたせて、当初の分類の通り「志をもって共に学び明日を拓くひとづくり」の中に位置づけることとした。

・整理番号36。重点課題の事業評価について。第3次総合計画の重点課題の達成結果について、事務局の方が提示した資料に対する意見。ABCDEというランクで事業評価を行っており、Aを「達成済み、事業完了」としているが、それがしっくりこない。

→4次計画のKGIの事業評価については、手順の見直しをかせせていただきたいと考えている。

・整理番号37、教育文化部会からの意見。他の部会でも同様のご意見をいただいているが、区長アンケートからの地域のコミュニティの支援、防災に関する話。

→元々横断型重点戦略の「支縁社会の形成」の中には地域コミュニティに関わる事業は入れていなかったが、地域と防災というのは非常に大切な視点なので、いただいた意見を踏まえて、防災対策事業ということで計上をさせていただいた。

・整理番号39。教育文化部会からのご意見。「未来を創造する先駆的なまちづくり」という基本目標、分野別基本施策の中に「情報通信環境の充実」があり、その中に情報教育の推進という記述がされていた。そこに書かれている記述がかなり古い内容であること、同じ内容が「志をもって共に学び明日を拓くひとづくり」にも計上されているということ、学校に限定せずに一般町民を対象とした情報リテラシーの普及などもこの部分に入れてはどうか。

→未来を創造する先駆的なという部分から、小中学校のICT教育の記述は落とし、かわりに一般町民を対象とする情報リテラシーについての記述をし、横断型重点戦略にも情報リテラシーや情報モラルについての事業を盛り込ませていただこうと思っている。これは第3回教育文化部会から出てきた意見であり、総務企画部会でもお諮りし、了承を得ている。

#### 【質疑・意見】

特になし。

### (2)第4次総合計画(第2次案)について

#### 【事務局訂正箇所の説明】

・資料6-1の訂正。表紙の次のページ、「はじめに」があり、次に「湯梨浜町」「町歌」といったページがある。その湯梨浜町の人口の部分で、平成22年の国勢調査のもので少し古いデータなので、平成27年の国勢調査のデータをそこに組み込み、人口を「16,550人」に変更。

→人口が変わったら人口密度も変わりますので人口密度も直していただけますか。

・わかりました。人口密度については見直しをしておりますので、直させていただきます。(事務局)



・資料6-1、7ページ目。上の表の年齢階層別人口の推移と見通しの部分。階層別の令和12年の推計の0歳から14歳の部分が誤っており、「2, 076」に訂正。

【事務局説明】 資料7に沿って説明

・整理番号1、資料6-1の6ページ目から10ページ目にあたる部分の基本フレーム(将来人口、産業等人口)。ここで示した、令和2年以降の推計人口が、第2回の審議会の時点でお示した内容と変わってきている。元々お示した内容は国立社会保障人口問題研究所推計の数字。ここを湯梨浜町人口ビジョンの数値と一致させていただいた。

整理番号2。資料6-1、15ページ目から17ページ目。元々これは審議員さんの方から、重点課題の流れ、構成についてご意見をいただいていた。変更前は、第1章が「策定にあたって」、次に基本構想が来て重点課題が来て基本計画が来てという構成だった。重点課題が基本構想の後ろにつくのはそぐわないということで、事務局の方も見直しをし、重点課題を序章にあたる第1章の「策定にあたって」のところに組み込んだ。

・整理番号3。資料6-2の19ページ目、22ページ目、31ページ目。資料6-3については39ページ。これも委員さんからのご意見。基本理念、未来都市像、基本目標の定義や関連性がごちゃごちゃしていてわかりにくい。未来都市像や基本目標がどういったまちを目指すのかイメージしにくいというご意見をいただいていた。次のように記述を変更。まず、資料6-2の基本構想の部分。そこに図を示させていただいている。20ページの図、22ページの未来都市像の部分で、基本理念や未来都市像や基本目標の相関を図示した。22ページの未来都市像のキャッチフレーズに込められたメッセージについて、「住みやすく」の意味、「魅力と活気あふれる」の意味、「愛のまち」に込められたメッセージについて詳しく書いている。それとその相関関係については基本計画の導入部の資料6-3、39ページ目に、基本目標とその下にぶら下がっている、施策事業の関係とを表した体系図を追加している。

・整理番号4。資料6-2、24ページ、30ページ目。基本目標の記述について、再度見直しをさせていただいた。項目としては移住、定住の推進について関係人口というのが横断型重点戦略の方でも大きいテーマとなっているので、関係人口についての記述を追加。横断型重点戦略で「男女が共に活躍できるまちづくり」といった施策を入れているが、基本目標にはそれが欠落していたので、30ページ目に「あらゆる人々の活躍の推進」という項目として追加した。

・整理番号5、資料6-2の33ページから34ページ、基本構想の4の土地利用計画について。主に産業建設部会で審議をいただいたところ。大きい意味では変更はないが、現状を踏まえた記述ということで見直しをかけている。

・整理番号6、これも産業建設部会で審議をいただいた部分。資料6-2の37ページの表の備考欄について。土地の利用見込みを書いていたが、不確定要素が大きいということで、あくまでこれは今後の面積の増減を算出するための内部的な資料ということで取り扱い、計画書本体の方には反映させないという方向で産業建設部会でも了承をいただいた。

・整理番号9。KGI25の男女共同参画の推進、資料6-3の57ページ目。地方自治法に基づく審議会、委員会などの女性の割合の数値目標を当初は35%として

いたが、40%に引き上げた。

・整理番号16、整理番号18。防災の関係について。横断型重点戦略、分野別基本施策で災害に強いまちづくりについての記述をしているが、もう少し具体的な踏み込んだ目標を入れるべきだ、自主防災組織などの強化をといったご意見をいただいた。それについて記述を変更しておりますのでご確認をお願いいたします。

・整理番号21、22。資料6-4の132ページから136ページ、「未来を創造する先駆的なまちづくり」の「情報通信環境の充実」の部分。まず、現況と課題については、第3回の専門部会の終了後に再度見直し、最近の動向を加えさせていただいた。教育文化部会からいただいたご意見により「未来を創造する先駆的なまちづくり」から小中学校の情報教育についての「情報教育の推進」の記述を落とし、学校教育に限定しない幅広い年齢層を対象とした情報活用能力の支援についての記述を加えた。

・整理番号28。資料6-1の目次の部分、資料6-4の74, 192, 201ページ。元々ここは「就学前教育」という書き方をしていたが、「幼児教育」と用語を変更させていただいた。その理由としては、教育基本法では「幼児の教育」、幼稚園教育要領では「幼稚園教育」とされていること、本町の教育大綱や教育振興計画でも「幼児教育」とされていること。辞書的な意味は一緒だが、表現に一貫性を持たせるために、変更をした。

・全体的な話で、総務企画部会や福祉環境部会から文末の表現についてご意見をいただき、全体的に文末の表現を見直している。

・整理番号30。元々主要事業に「地方創生」といった事業があったが、この地方創生という部分を削除している。

・注釈の表現がまちまちだったので、注釈についても表現を統一した。

#### 【質問・意見】

・資料6-2の21ページ目、SDGs。若い人にはなかなかわかりにくいので、注釈をつけていただくかもっと詳しく書いていただきたい。世界的な取り組みとして、日本も国会か何かでこういうことを提案するということが議決されたというようなことと合わせて、湯梨浜町もこれを推進していくという具体的な説明を書いていただきたい。

・資料6-2、26ページ、一番下の行の「自助」「互助」「共助」「公助」。これも全国的に言われており、非常にいいことだが、「互助」についての説明が他のところには書いてないので、注釈していただきたい。例えば資料6-3の70ページの上から6行目に「自助・公助・共助」とあるが、「互助」がない。他のところにもこういった部分があるようなので、「互助」も入れておいていただきたい。次のページ、71ページにも「互助」がない。それから、少し説明が足りないと思う。

私の考えとしては、「自助」は一般的に自分の命は自分で守るということ。資料6-3、71ページの「自助」の説明としては、「自分の命は自分で守るため、町民一人ひとりが適切な避難行動を行うための正しい知識を持ち、平常時からの備えを行うといった防災活動の自主的で積極的な参加をさらに促進していきます。町民の防災意識の高揚、防災知識の普及啓発のため、防災特別対策官を配置します。」とするのはどうか。

「自助」の説明の後に「互助」を入れる。

「共助」については、「共助」とは何かということが書いてない。「共助」というのはご存じのように、「地域の住民は地域で守る」ということ。それを書いていただいで、最初に資料6-4の101ページ、「防災対策特別強化事業」の言葉を入れていただき、資料6-3の71ページとまとめてもらいたい。資料6-3、71ページの「共助」の内容として、私の意見は、「共助は地域の住民は地域で守るため、全集落における自主防災組織の組織化と災害時に有効に機能する防災体制の強化を推進するため、防災特別対策官による出前講座により、集落単位で組織される自主防災組織の設立を推進します」という内容で検討していただきたい。

資料6-3、71ページの「共助」の中の3行目の真ん中辺に「地域防災計画」と書いてあるが、土砂災害防止法には、町の計画は地域防災計画、地域の計画は地区防災計画という表現がしてあるので、ここの部分は「地区防災計画」に直していただきたい。

それから最後に「公助」。「公助」とは何かというのをもうちょっと書いていただきたい。早めの避難を推進するために、町としてこういうことに取り組むということ、大規模災害への対応というのも入れていただきたい。

→SDGsについて。資料6-2、21ページ。ご指摘の通り、SDGsに向かって町はどのように取組を推進していくかといった表現が抜けている部分があるので、わかりやすい表現に見直しを掛けさせていただきたい。(事務局)

→防災の関係について。「自助、共助、公助、互助」の部分、あと「自助」とは何か、「公助」とはなにかといった部分がこのままの表現ではわかりにくいというところがあるので、再度表現の方の見直しをかけさせていただきたい。(事務局)

#### 【各部長からの意見・感想】

・各部長で真摯に丁寧に取り上げて検討していただいた様子が分かりました。事務局の方でもこれを取りまとめるのに大変ご苦労があったのではないかと思います。私としては意見を取り上げていただいて、いい計画になったなと思っております。

・産業建設部会は非常に幅の広い内容でありました。3回の審議の中で出た意見を取り上げていただいて、非常にいい資料になったのではないかと思います。

・今日は各部長のいろんな意見が聞けたので良かったと思いますし、ひとつひとつ大変だろうとは思いますが、また意見をまとめてもらって、よりよい計画になればなと思います。町のことを考えたいいい内容になってきたんじゃないかと思います。ありがとうございました。

・各部長で協議していったわけですが、総務企画部会だけではわからなかった専門的な各部長の意見がたくさん出てきて、本当にだんだんこの資料が充実していくのがうれしくっております。各分野で経験や実績を積まれたみなさんの貴重な意見を参考にして、委員である以上、自分で何かできることがあるんじゃないかなと思いつつ審議を続けていけるようにしていきたいと思っております。ありがとうございました。

## 【質問・意見】

・マイナンバーカードについて。セキュリティの面において、12桁の文字だけで登録するのはちょっと怪しいと感じている。足りないのは指紋。将来の町の行政において個人の指紋も一緒に登録するというような考えはおありでしょうか。

→これは今、国が必死になって進めておられるところです。他の人が使ったり、悪さできないようにする、暗証番号やパスワードみたいなものもちゃんと挿入している。また安全性の確認をしてご報告申し上げたい。(町長)

・今各部会の方からご報告いただき、みなさまおっしゃっているように、非常に素晴らしい内容にできてきたと思う。私の方から確認しておきたいのは、総合計画のチェック体制の話。チェック体制が内部だけでは甘くなるので、外部評価も検討されてはどうかという意見が出ていたが、それに対する回答がホームページで公開して住民の方から幅広く意見をいただくという内容になっている。これではちょっと不十分ではないかなという気がする。総合計画というのは、地域の最上位の計画なので、作るだけではなくそれを活かすこと、今せつかく素晴らしいものが作られているので、それを活かすという観点が非常に重要。毎年ローリングをしていき、チェックをしていく体制というのが必要ではないかと思う。例えばこの審議会のメンバーの中で何人かを選ばれて、毎年どうなっているのかというのをチェックしていただくことが、この総合計画を活かすものになると思うので、ぜひお願いしたい。

→ご意見ありがとうございます。よりよい総合計画については、着実に推進することが非常に重要だと考えている。今いただいたご意見を含め、検討させていただければと思う。よろしく申し上げます。(事務局)

・各部会でいろいろな議案や提案をいただきましてありがとうございました。そして事務局からは本当にそれに対して真摯にいろいろと考えていただき、答案をいただきましてありがとうございました。

議案や審議のことではないが、第2次案という資料6-1の中の最初のページに「町章」「町の花」「町の木」というのがある。その中の説明文に「選定されました」という言葉が入っているのがなんとなく落ち着かない。例えば「町の鳥」であれば「願いをこめて選定されました」を「願いがこめられています」といった文言にしていたらスムーズに落ち着くのではないかと感じた。

→いいご指摘だと思うので検討してください。(山田会長)

・資料を自宅で拝読している間にすごく気になる言葉遣いがあった。「今は男女共同参画は古い」という書き方がしてあったり、事務局の方から「表現に関して統一性」や「考えていく」というようなお話があり、対応の中では「ダイバーシティ」みたいな言葉がでてくる。鳥取県はこの12月、男女共同参画の表の言葉を変えた。「鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくりの計画」というようなのが頭にきて、中にはちゃんと男女共同参画理念、思想、それから言葉も入っている。いきなり造語にしたり、いきなりカタカナの「ダイバーシティ」を持ってくる前に、このような配慮のある言葉遣いを検討していただきたい。事務局は先ほどからずっと表現を考える、表現を変えるというようなことをおっしゃっているので、とても期待しておきたいと思っている。

・資料5の3ページ目、整理番号12。「東郷池」と「東郷湖」の使い分け。あくまで国土地理院では「東郷池」となっているのでその方がいいかなと思う。

## 5. その他

### (1) 今後のスケジュール

今日の審議会ではなかなか言えなかったことや気づかれた点などを12月28日までに事務局の方にご報告いただき、今日いただいた意見なども取り入れて、もう少し表現の方を見直ししたいと思う。予定として1月の12日からの週から1月末までとして、パブリックコメントの実施をしていきたい。パブリックコメントの方でいろいろご意見をいただくとと思うので、そのご意見を勘案して2月の中旬に最後の審議会を開催させていただきたい。審議会で審議いただいた後、3月定例議会の方で計画書を報告という流れにさせていただきたいと思う。第4回の審議会の通知についてはまた改めて出させていただく。(事務局)

#### 【町長あいさつ】

冒頭、「愛」という言葉についてご意見があったということで伺いまして、気持ち的にはいろんな施策、それぞれの分野で福祉の分野で見ても教育の分野においても産業の分野においてもいろんな施策があり、そういうことをひとつずつ包括して、湯梨浜町はそういう考え方を根っこにおいて頑張っていくんだよということができればいいんじゃないかなと。その言葉として何を選ぶかということ町長室で話したときに「愛」という言葉を使ったらどうかと、人を大切にすまちなさよということ根っこに据えて、施策をいろいろ組み立てたりというような意識をもっていたらいいんじゃないでしょうか。これは打算的な表現かもしれませんが、割とこの言葉を総合計画の中で使っているまちなさがないです。ご提案があった「ぬくもり」のような言葉で、本当にいい言葉ですけども、先ほども申しましたように多少広く底辺に流れさせたいというような思いからでございまして、ご理解をいただければと思います。

それから今頃になってから私がこんなことを言うとしかられそうですけども、今日、言ったり聞いたりして気づいたこととして、教育の分野で、私みたいな古い人間が「健全な魂が宿る」とかというようなことをふと考えてみた時に、子どもの体のことについての記述がないということ。「志をもって共に学び明日を拓くひとづくり」の現況と課題の部分は「道徳教育を推進します」の最後の一言だけでいいのか、体育はどうするのかということ。それからいろんな困難を克服してがんばっていきける子どもを作りたいといったようなことが全体にひとつあるといいんじゃないかなと。これは管理運営計画みたいに見えるわけです。最終的にはどういうことをさせたい、我々が社会人としてどう生きていっていかうことを一行きちつと書いていただけるとありがたいかなという気がしています。

どうもありがとうございました。一応今日はこれで終わりますが、今町長さんから「愛」についての話がありましたけども、これについてどうかなと言ったのは私でありまして、そういう説明を受けて、じゃあ「愛」でいこうかと思ったのが正直なところです。それから先ほど、自助、互助、共助、公助というような話がありました。自助は自分の、互助はお互い同士、共助はちょっと組織化された助け合い、公助は公の、それをどう組み合わせていくかということを手を使い分けなければいけないなと思います。最後に町長さんからご指摘があったところは、町長さんと教育長さんと中前会長で協議をしていただけたことと思っております。今日はこれで終わります。ありがとうございました。(山田会長)

～閉 会～